

登別駅前広場の整備

【登別市・継続】

■ 現状と課題

登別駅は国内外から年間約300万人の観光客が訪れる登別温泉の玄関口であり、登別駅前地域においては訪れる観光客と迎える住民との交流の場として、コミュニティーセンターの設置を検討するなど観光振興と地域活性化の取り組みが進められているところでもあります。

しかし駅前広場は駐車場も狭く、駅を利用する歩行者、自転車、自家用車、バス、タクシーなどの交通が輻輳し、交通結節点としての機能が低下しております。

これらのことから、登別温泉の玄関口として交通結節点機能の向上が必要であります。

【登別駅前交通広場 3,400㎡ 昭和47年10月21日都市計画決定】

■ 要望内容

- 交通結節点機能の向上を図り、登別温泉の玄関口としてふさわしい登別駅前広場の整備



■ 事業効果

- 登別温泉等へのアクセスの向上
- 観光の振興強化
- 地域活性化
- 歩行者、自転車、自家用車、バス、タクシーなどの交通の安全確保と利便性の向上